

24. 皮膚腫瘍

○: 専門とするがん ×: 診療を実施していないがん
 ※別紙5に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○: あり ×: なし

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況 (○: 実施可 / ×: 実施不可) / 昨年の実績 (あり/なし) ※平成25年1月1日～12月31日					各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ				
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術	化学療法	インターフェロン療法	放射線療法 体外照射	凍結療法		ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容	治療内容	治療実績	医師の専門分野
1	形成外科	8	8	○	○	○	×	×	皮膚がんは特に顔面に多く、顔に傷がつくことをたがう方が多いと思いますが、特殊な縫合方法により傷は非常に目立たなくなります。形成外科は縫合の仕上がりに自信を持っております。	ア http://www.kitano-hp.or.jp/section/keisei/index.html	掲載あり	掲載あり	掲載あり
			実績	あり	あり	あり	なし	なし		イ http://www.kitano-hp.or.jp/section/keisei/cure#index-content	掲載あり	掲載なし	掲載なし
2	放射線科	8	2	×	×	×	○	×	放射線治療とは、臓器を守りながら「がん細胞」に放射線を照射し、縮小させる治療法のことです。様々な療法がありますが、各診療科医師と協同してその時に最適な放射線治療を行うようにしております。	ア http://			
			実績	なし	なし	なし	あり	なし		イ http://			
3										ア http://			
			実績							イ http://			
4										ア http://			
			実績							イ http://			
5										ア http://			
			実績							イ http://			

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日	例: 悪性黒色腫、乳房外パジェット、基底細胞がん、有棘細胞がん 悪性黒色腫、乳房外パジェット、基底細胞がん、有棘細胞がん
------------------------------------	---